

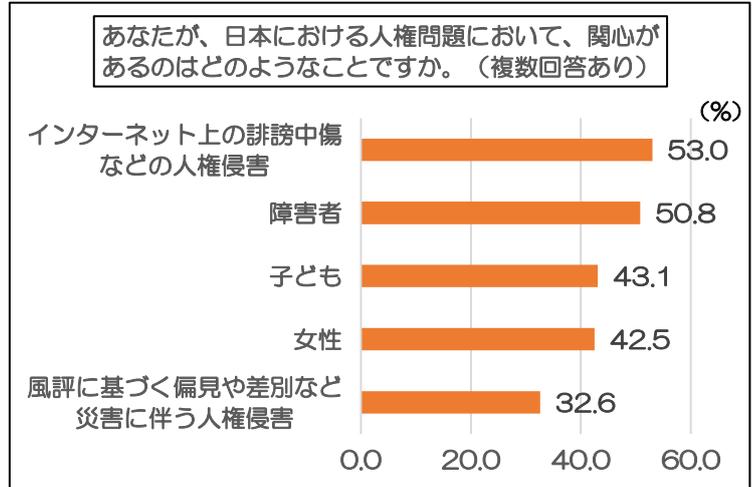


## インターネットと人権

### 関心の高まり

内閣府の調査において、「日本における人権問題において関心があるのはどのようなことか」の問いに対して、「インターネット上の誹謗中傷などの人権侵害」と回答した人が53.0%と最も高い割合となりました。(右図)

内閣府「『人権擁護に関する世論調査』の概要」  
(令和4年8月調査) (<https://survey.gov-online.go.jp/r04/r04-jinken/gairyaku.pdf>)  
より上位5位を抜粋



### インターネット上の様々な人権問題

インターネット上の人権問題が深刻化している中で、その例として以下のようなものがあげられます。

<p><b>●個人に対する誹謗中傷</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・著名人に対する誹謗中傷を書き込む。</li> <li>・虚偽の投稿によって名誉を傷つける。</li> </ul>	<p><b>●ネットいじめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無料通信アプリにおいて、相手の心を傷つけるようなメッセージを送る。</li> <li>・メッセージグループから外す。</li> </ul>
<p><b>●プライバシーの侵害</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSに他人の写真や動画を無断で投稿し、服装などから学校や職場、風景などから生活範囲が特定された。</li> </ul>	<p><b>●性犯罪・児童ポルノ・リベンジポルノ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSで親しくなった若者に対して性的な写真を送らせたり、直接会ってわいせつな行為をする。</li> <li>・交際していたときに撮影した性的な写真を、別れた後にネット上に公開する。</li> </ul>
<p><b>●ヘイトスピーチ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の民族や国籍の人を排斥する差別的な書き込みをする。</li> <li>・災害時に「被災地で外国人による犯罪が横行している」などのデマの情報を流す。</li> </ul>	<p><b>●同和問題に関すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の地域を同和地区であると指摘するような投稿をする。</li> <li>・同和地区やその関係者に対して誹謗中傷を書き込む。</li> </ul>

### チェック☑

インターネット上の人権問題はとても身近な問題です。自分が被害者にも加害者にもならないよう、正しい知識とモラルを身につけましょう。

そして、画面の向こう側には相手がいることや、不特定多数の目に触れることを想像し、人権尊重の意識を持ってインターネットを利用しましょう。

